

令和3年度 沖縄県行政改革推進本部議題に関する確認事項照会及び回答・対応一覧

No.		確認事項	回答及び対応
1	①議会事務局長	<p>議題1&lt;資料1&gt;沖縄県行政運営プログラム進捗管理表(案)について</p> <p>① 5頁の「成果指標」中、「電子申請利用件数」の2020年実績値113,051件は、新型コロナウイルス感染症に係る各種申請手続による臨時的な大幅増加と考えてよいか。 2020年が臨時的な増加だとしても、2021年の目標値を18,000件と低く設定しているのは何故か。2019年の実績値が19,634件なので、2021年は20,000件以上の目標値とするのが妥当ではないか。</p> <p>② 同様に、22頁の「成果指標」中、「業務見える化シートの導入による改善事例(累計)」で実績値が159件と大幅に改善しているにもかかわらず、2021年の目標値を90件と低く設定しているのは何故か。</p> <p>③ 37頁の進捗状況が「○ 順調」となっているにもかかわらず、「推進状況が「順調」以外の場合はその要因」欄に、「達成することが難しい状況」との記載があるのは何故か。 2021年の目標値が183 時間と非常に厳しい設定なので、進捗状況は、「○ 順調」は誤記載ということか。</p>	<p>①デジタル社会推進課 ・2020年度の実績値の伸びについては、新型コロナウイルス対策関係の協力金申請手続等の増によるものです。 ・目標値については、現行プラン策定時に定めたものであるため、近年の実績に即していないように思われますが、プランの運営において、各目標値を随時見直すことは想定されていないとのことですが、したがって、当課としましては、目標値だけでなく実績値を踏まえううえで、更なる利用件数の増を目指して取り組んでいくこととしております。</p> <p>②行政管理課 ・成果指標「業務見える化シートの導入による改善事例(累計)」の目標値90件については、プログラム策定時(平成30年3月)に設定した令和3年度目標値となっており、全取組において、当該目標値については、プログラム実施期間途中で見直しを行わない(増加・減少させない)こととしております。 ・なお、業務見える化シートの導入による改善事例(累計)は、令和元年度目標値30件に対し、実績値97件となっており、令和2年度は目標値60件に対し、実績値159件となっており、これを踏まえると、令和3年度の計画は、より高い目標を掲げ成果を出す取組を行っていくことが適切かもしれませんが、今回は、コロナによる職員の業務負担軽減を勘案して、各職員による見える化シートの作成及び改善事例の報告を休止することとしております。</p> <p>③人事課(総務事務センター) ・「推進状況が「順調」以外の場合はその要因」欄は、「順調」の場合は記載不要のところ、修正漏れにより記載をしたため削除します。 ・目標値183時間は厳しい設定ではありますが、進捗状況としては基準値9,575時間に対し実績値3,154時間と順調に推移しているため「○ 順調」と記載しております。</p>
2	②保健医療部長	<p>議題1&lt;資料1&gt;沖縄県行政運営プログラム進捗管理表(案)について</p> <p>先の幹事会でも意見させていただいておりますが、保健医療部では、「沖縄県業務継続計画(新型インフルエンザ等対策編)」の基本となる「沖縄県新型インフルエンザ等対策行動計画」を見直し、それに基づく業務継続計画の見直しを行ってまいります。以下のような課題があると思われることから、今後、議論を行っていく必要があるものと考えております。 新型コロナウイルス感染症のような全国規模かつ社会経済活動に長期間影響を及ぼし続け、感染症分野にとどまらず社会生活全般への影響が甚大な新興感染症については、全庁的な危機管理の観点から議論も必要と考えます。</p>	-